

## 第40回兵庫県医療審議会保健医療計画部会 議事概要

- 日 時：令和4年3月25日14:00～15:30
- 場 所：兵庫県医師会館6階会議室
- 出席委員：足立 光平（兵庫県医師会副会長）  
白井 里佳（兵庫県愛育連合会会長）  
大村 武久（兵庫県病院協会会長）  
笠井 秀一（兵庫県薬剤師会会長）  
榊 由美子（兵庫県栄養士会会長）  
澤田 隆（兵庫県歯科医師会会長）  
島 正之（兵庫医科大学教授）  
竹内 徹（全国健康保険協会兵庫支部支部長）  
太城 力良（兵庫医科大学理事長）  
大迫 しのぶ（兵庫県看護協会常務理事）  
橋本 創（兵庫県民間病院協会副会長）  
登里 倭江（兵庫県いずみ会会長）  
浜上 勇人（兵庫県町村会理事・香美町長）  
高野 守秀（兵庫県精神科病院協会理事）
- 欠席委員：飯島 一誠（兵庫県立こども病院院長）  
中村 文代（兵庫県消費者団体連絡協議会会長）  
眞庭 謙昌（神戸大学医学部附属病院院長）

### ●次 第

#### 1 開会

#### 2 健康福祉部長挨拶

#### 3 議事と結果

##### （1）議決事項

##### ① 市立伊丹総合医療センター（仮称）の特例申請について

資料により事務局から特例の要旨、理由、算定根拠等について説明。  
全会一致で承認を得た。

#### 4 議決事項についての主なやりとり

##### ○議決事項 (1) - ①

委員：感染対策についてはどうなっているのか。

事務局：コロナに関しては、現行の両病院の病床数を確保して、今まで以上の対応も可能になるようにと考えている。また、感染症のエレベーターや入り口についても工夫して、感染拡大の防止を図ると聞いている。詳細については、オペレーションも含めて今後の検討となる。我々も今後の地域医療構想の推進にあたり、各圏域でそれぞれの医療機関がコロナで果たした役割を踏まえて今後検討するようお願いしている。その中でしっかりと議論していただきたい。

委員：高度急性期の病床が増えるということだが、救急医療としての位置づけはどのようになるのか。

事務局：伊丹総合医療センターについては、基本的には二次救急医療機関であるが、高度な救急を確保したいということで、一定、二次からの後送についても受け入れる体制を整える計画を立てていると聞いている。

委員：二次救急をしっかりとやるのはとても大切である。救急部門の医師、看護師、プラス全科の協力が必要であるのでそのあたりを踏まえて進めていただきたい。

結論：事務局案で承認。